

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 18-037)

1 パラオは、第19回ミクロネシアサミットを2月に主催（パラオ、ミクロネシア、マーシャル諸島首脳が参加し、気候変動、漁業、Compact（自由連合盟約）のもとでのアメリカとの関係等について議論）

[原文](#)

(15 January 2019, Island times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。
その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

2 「中国は太平洋島嶼国を支配しようとしているが、ナウルは台湾を支持し、中国による『一つの中国政策』を拒否する」と台湾訪問中のナウル大統領が発言

[原文](#)

(15 January 2019, Radio NZ)

3 台湾総統は、2019年3月にパラオを初訪問する予定

[原文](#)

(18 January 2019, Island Times)

【オーストラリア首相によるバヌアツ・フィジー訪問】

4 「バヌアツの中立性を重視し、オーストラリアを含めたどの国とも安全保障条約を結ぶことに関心が無い」とオーストラリア首相のバヌアツ訪問前に、同国外相が発言

[原文](#)

(15 January 2019, Radio NZ)

5 【共同記者発表】オーストラリア首相は、バヌアツを初訪問し、同国首相と両国の今後の強い協力関係を再確認（経済開発、人材育成、国家安全保障、地域の安定、気候変動、災害対応等に関する支援を約束。また、安全保障面では、従来より高機能な警察大学が同日設立され、（代替となる）新たな監視船が今後、バヌアツに供与される予定）

[原文](#)

(16 January 2019, Prime Minister of Australia)

6 オーストラリア首相が昨年発表した新たな太平洋島嶼国への融資プログラム

ム（中国の影響力の高まりに対抗した 14 億 US ドル相当の島嶼国のインフラ開発を目的とした基金）に関して、同国前太平洋開発大臣は、同島嶼国がさらに負債を抱えることになると批判（前大臣は、在職中、中国による太平洋島嶼国への融資を、負債を島嶼国に負わせるものとして批判）

[原文](#)

(17 January 2019, Radio NZ)

7 「オーストラリアによる『太平洋島嶼国（移民）労働スキーム』へのフィジーの参加」をオーストラリア首相が（フィジー訪問中に）発表（昨年 11 月に、オーストラリア政府は、同国への『移民労働スキーム』を太平洋島嶼国全土に拡大することを発表）

[原文](#)

(17 January 2019, Radio NZ)

8 オーストラリア首相は、フィジーを公式訪問し、両国の関係強化を目指す（オーストラリアによる、フィジーの国境管理の強化支援、監視船 2 隻の供与、南太平洋大学を通じた教育支援、無料のテレビ番組の供与等を表明）

[原文](#)

(17 January 2019, XinHuanet)

【日本の藪浦総理補佐官によるパラオ訪問】

9 日本の総理補佐官がパラオを訪問し、副大統領と会談、海上法執行分野に関する改善方策等について議論。総理補佐官は、海上保安庁 MCT（Mobile Cooperation Team）による訓練を視察

[原文](#)

(15 January 2019, Island Times)

10 パラオの海上法令執行部（DMLE）は、海上保安庁 MCT と法執行の合同訓練を実施

[原文](#)

(18 January 2018, Island Times)

11 日本の総理補佐官は、パラオでの訓練視察後「自由で開かれたインド太平洋戦略」を促進させることを表明（パラオの大統領府官房長官は、これまでの日本（日本財団、笹川平和財団）、オーストラリア、アメリカによる支援について感謝を表明）

[原文](#)

(18 January 2018, Island Times)